

議題 1 ききょうバスへのデジタル回数券の導入について（協議）

【施策 4-5：学生を対象とした利用促進】

【施策 5-3：新技術を活用した Maas（予約・決済方法等）の導入検討】

1 結論

9 月 1 日（一部 10 月 1 日）からききょうバス中心市街地線（オリベ観光ルートを除く。）において、デジタル回数券を導入する。

ただし、学生割引用のデジタル回数券は、令和 9 年度 3 月までの試行導入とし、効果検証する。

2 背景・経緯

- （1）ききょうバスは、運賃の支払いが現金のみであったため、電子決済などの利便性が求められていた。
- （2）令和 6 年度高校生を対象に「移動実態アンケート」を実施し、通学状況・休日の外出先などの現状及び利用ニーズ等を把握した。

3 目的・内容

（1）目的

- ① 運賃を現金で支払うこと及び紙回数券を東鉄㈱販売所等で購入することなどの煩わしさを解消することでバス乗車の利便性を高める。
- ② 運転免許返納に係るサービスを拡充し、公共交通を利用する生活への転換の一助とする。
- ③ 学生に公共交通での移動を習慣付け、通学やお出かけの移動手段として定着を図る。

（2）内容

デジタル回数券とは、スマホ上で購入、利用時に回数券を表示させ運転士に提示することでバス運賃の支払いを簡単にするもの。本市では「クイックライド（㈱レシップ：本巣市）」を採用券種、対象者等詳細は、2 ページの「ききょうバスデジタル回数券の種類と概要」を参照

（3）デジタル回数券を使用したバスの乗降の流れ

- ① スマホ上で「クイックライド」のアプリをダウンロード
- ② クイックライド内で、必要なデジタル回数券を選択し、購入
- ③ バスに乗車し、降車前にデジタル回数券をスマホ上で有効化（使うボタンを押す）
- ④ 運転士にデジタル回数券を提示し降車
- ⑤ スマホ上のデジタル回数券が 1 枚分使用済みに移動する（1 枚使用したことになる）

（4）バスチケット 65 との関係

200 円区間を利用される方が 100 円区間のデジタル回数券を購入し、バスチケット 1 枚と 100 円のデジタル回数券を提示して使用が可能

4 今後のスケジュール

9 月 1 日～	周知活動、サービス開始（一般及び障がい者割引回数券販売開始）
10 月 1 日～	サービス開始（運転免許返納割引・学生割引回数券販売開始）

ききょうバスデジタル回数券の種類と概要

規

券種	紙回数券	100 円区間 (販売価格)	200 円区間 (販売価格)	対象	販売 開始	購入時の条件等
普通用	有	100 円券×11 枚 (1,000 円)	200 円券×11 枚 (2,000 円)	どなたでも	9/1	—
障がい者割引用	有	100 円券×11 枚 (500 円)	200 円券×11 枚 (1,000 円)	障害者手帳 所持者※1		WEB 上で回数券購入時に身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の画像を提出
免許返納者割引用	無	100 円券×11 枚 (500 円)	200 円券×11 枚 (1,000 円)	運転免許 返納者	10/1	WEB 上で回数券購入時に運転免許を返納したことが分かる書類（※2）の画像を提出
学生割引用	無	100 円券×13 枚 (1,000 円)		学生 ※3		WEB 上で回数券購入時に学生証、通学証明書の画像を提出(小中学生は、義務教育のため、健康保険証やマイナンバーカードで生年月日を確認)
学生割引用（キャンペーン）	無	100 円券×20 枚 (1,000 円)				①WEB 上で回数券購入時に学生証、通学証明書の画像を提出(小中学生は、義務教育のため、健康保険証やマイナンバーカードで生年月日を確認) ②販売期間:制度開始当初10月のみ1ヶ月間、年度当初4月のみ1ヶ月間 ③使用期間:購入日から2ヶ月間

※1 身体障害者手帳第1種・第2種、療育手帳第1種・第2種、精神障害者保健福祉手帳1～3級が対象

※2 運転免許返納したことが分かる書類は、運転経歴証明書、取消通知書、「全部取消し」印ありの旧免許証、マイナンバーカード貼付用運転免許返納シール

※3 学校教育法第1条に定める小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校に在籍する学生、生徒(未就学児は運賃無料のため対象外)